

イエスは 主なり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 125

『犠牲—いけにえ』

出エジプト記20章4節

大石 嗣郎



NHK放送記者、柳田邦男氏は息子洋二郎さんの心の病について、「犠牲」—サクリファイス（文春文庫）—に克明に記して、前半は「わが息子—脳死の11日」、後半は脳死について述べている。

著者が何故に「犠牲」—サクリファイスという題名をつけたか、その理由はよくわからない。旧約聖書の出エジプト記20章の冒頭に十戒が記されている。その第二戒に偶像禁止として、「あなたはいかなる像も造ってはならない」と固く戒めている。而し同章24節に、「あなたは、わたしのために土の祭壇を造り」と先述の戒めと矛盾することが記されている。更に引続き「焼き尽くす献げ物、和解の献げ物、羊、牛をその上にささげなさい」。これはどこの国、どこの民族宗教にも神に「いけにえ」を献げる習わしは例外を除いては皆無に等しいのです。彫刻師或は彫刻家は、木や金属の物体を使って彫刻を試みますが、そのすべては自分の考えを形に現わす。

第二戒の意味する像を造ることは、人間が神を支配するかの如く、勝手に自分のものにすることを禁じた戒めである。

日本の某宗教では、山海の珍味を神前に献げる習わしがある。南米のペルー国に存在したインカ帝国時代は、少女をいけにえとして献げる習わしがあった。旧約聖書の信仰の父、アブラハムが、自分の一人子イサクをモリヤの地（創世記22章1節～2節）において、いけにえとして献げようとした物語がある。ですから人間が神にいけにえを献げる営みは、人類が普通に神に対する行為として等しく認められてきたことです。

而し新約時代に入りますと、そのいけにえの考え方が180度一変した。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネによる福音書3章16節とのみ言の如く、人間が神にいけにえと言うより、神が人間へという、今までの既成概念とは異なった驚くべき神の行為がなされることになった。私達のような、価値のない、取るに足りないものを愛し顧みて下さった福音である。独り子をくださるほどの愛、私達の一人も滅びないことを欲される愛、そのような神の愛を告げるみ言は未だ誰も耳にしたことがなかった。このみ言をきく時、私達の心は身震いを覚え、言葉に言い表わすことの出来ない感謝と喜びに満たされる。私達をかくもひたすら一所懸命に愛して下さる愛。どんなに主が十字架で深く苦しまれたか。独り子という賜物の大きさを、私達は未だによく弁えていないのです。その故に、主がこられる程愛して下さるこの世界を、私達はまだ本当に愛することが出来ないのです。私達の思いに勝る愛でこの世界を愛して下さる神、その愛の中で私達を生かして下さるのです。そのみ救いの中でこの世を愛し、自分自身を愛するよう努力し、祈るべきです。

（連盟理事長・日本基督教団卑文谷教会牧師）

旧約聖書 霊想 『摂理か宿命か』

創世記45・4〜15

ローマ8・28

泉北にゆい教会牧師 土山牧志

「神は、あなたがたの末を地に残すため、また大いなる救いをもってあなたがたの命を助けるために、私をここに遣わされたのです。それゆえわたしをここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神です」(7、8)。「神を愛する人々、すなわち神の御計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています」(ロマ8・28)。

既に決定されていて、自分ではどうにも仕様が無いように仕組まれていることです。人生はすでに創られたシナリオにのみ従って展開されて行くのが宿命です。人間の幸福も不幸も宿命によって縛られていて、誰もそこから逃避も脱出もできず、それを受入れて諦めるより外に仕方なく、人間の自由意志が入る余地がありません。そこには暗く、苦悩に満ちた厭世的な人生があるのみです。しかし私たちは、信仰によって悲しい宿命の輪を断ち切って、それから解脱する道が開けてきます。神は人間を見捨けないで、人間が幸せであるために見えない神の助けの手を働かせて、状況が良くなるように愛の助力を差し伸べていられるのです。

(二) 運勢を導く神の摂理

世間で言われる運命は宿命とは異なっていて、万事偶然主義です。身に降りかかるさまざまな出来事は、総て偶然の悪戯がする事柄です。運が良ければ良いチャンスとなり、上手に捕えねばなりません。運が悪ければ、とんだ災難を被ったことになり、被害を避けることができません。いつ起るともなく偶然に起きてくるので、人生には常時不安が付きまといまいます。自分ではどうもならない自然の成り行きに身を任せてしまいがちです。けれども、一般の人々には摂理と言う言葉が分からないから、「神が良

い運を下さるので、クリスチャンになって本当に良かった。」とか、「キリスト教の信仰に入れば、神様が幸せな運勢を与えてくださる。」とか言う、人々はキリスト教に関心を持つようです。それはキリストの神様が、摂理の御手で導いて本当の幸運に入れてくださるとの意味です。

(三) 摂理の神への信仰

人間の誤りで自分と社会に与えた傷に対して、神は愛の配慮をもって癒す業を行なっていられます。

個人の生活上の問題の解決でも、摂理の業は今すぐにでなく、神が定められた時に現わされます。細心の心遣いをもって努力しつつも、心を静めて聖書に深く親しんで、神の業が霊的に現われるのを静かに祈って待つべきです。私達は今、神の愛の手を氣づかないけれども、後になって、ああ、あのときに神は私に摂理の手で助けて、運命を方向転換させてくださったのだ、と分かるでしょう。

▼インド途上のキリスト

一九八六年一〇月改定版

E.S. ジョーンズ著新訳者 淵江淳一

価一、九〇〇円 一三三六、〇円

スタンレー・ジョーンズ博士の遺言的大著 『震われない御国と 変わらない人格』

キリスト教二大原理の霊的解明 淵江淳一・千代子共訳

宇宙と人生の究極目的を知りたい万人の書

・B6版・並製・504頁
・価2600円・送料310円

発行所・日本クリスチャン・アシュラム連盟
〒152-0001東京都目黒区中央町1-21-10

アシュラム生活最良の友 アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価300円、〒90円、年2,340円(〒共)

3ヶ月分個人予約注文は5,400円(〒除く)

申込先 ☎256-0812 小田原市国府津3-11

振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来49年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10
日本クリスチャン・アシュラム連盟

第38回関東アシュラム開会礼拝

『すべての舌が』

『イエスは主である』と』

フィリピ2・1・11

志村栄光教会協力牧師 新原 迪

フィリピ教会の信徒には、キリストの福音に与かる喜びが溢れていました。しかし、パウロは気掛かりとなるものがあつたのです。つまり、不一致ということでした。

そこでパウロは、一章27節以下に「ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい」と奨め、霊的一致を促しています。

そもそも「不一致」を起こすというのは、人間が罪を持っているからです。罪が赦されたといながらもまだ罪の残渣を持つ者たちの集まりである教会には、この種の問題が起こりうるのです。

例えば、パウロが投獄されていた町の教会にも「妬みや争い」をもつてキリストを宣べ伝えたり、獄中のパウロを「更に苦しめるつもりで」、党派心を以ってキリストを宣べ伝える者たちがいたのです。

そしてこれらの不一致は、フィリピ教会にも決して無関係でないことを、パウロは忠告したかったのです。ところでこれらの分派や、分争、教会の諸種の問題に先がけて大事な

ことは、一人一人が「キリストの福音にふさわしく生活すること」です。そこでパウロはこの二章のはじめで、福音にふさわしく生活する「愛による一致」を懇々と説くのであります。フィリピ教会の人たちのニードは、この「愛による一致」の解決でした。

私たちは、キリストが愛を以ってご支配しようとするのを妨げる罪の一つ一つを取り除いて頂かねばなりません。フィリピ教会の人たちにとっては、「党派心」と「虚栄」であります。この二つはいずれも「自己中心」から出る罪で、これが教会の一致と平和を乱す病原です。しかも、人間はこのようなものの虜になり易いのです。

そこでこの病菌に犯された者たちが、それから救われるために必要なものは何か。それはへりくだりです。アシュラムの五大原則の第一に、「キリストへの明け渡しと服従」があります。これはキリストご自身のへりくだりと、神への従順に学ぶものであります。

即ち、6節「キリストは神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず」7節「かえって身分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現われ」8節「へりくだって、死に至るまで、

それも十字架の死に至るまで従順でした。」

徹底して神第一であり、明け渡しと従順です。従って私たちは、心のすみずみまで明け渡しを求められます。主であるキリストに委ね、聖霊のご支配、御言への従順を学ばねばなりません。なぜならキリストご自身、その道を歩まれたからです。

あのゲッセマネの祈りにおいて、「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように」(マルコ14・36)と祈られ、徹底して神の御旨への従順を歩まれたのでした。

即ち、それはキリストがわれらの罪のために呪い捨てられ、十字架の贖いを全うし、全人類の罪が、全く赦されたのでした。しかも、永遠に輝く復活の命の勝利をすべての人に賜ったのです。にも拘らず多くの人が、これを未だに知らずにいます。

これ故この福音は、余すところなく宣べ伝えられねばなりません。正に、「教会への奉仕と伝道」(五大原則)が目指すところです。

ここに9節の御言が告げられる所があります。「このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました」と。そして、天上のもの、地上のもの、

地下のものすべてがイエスの御名にひざまづき、すべての舌がイエス・キリストは主であると公に宣べて、父である神を称えるためであると告げています。栄光は神にです。

私たちはこの神の愛に応えてゆきたい。イエスは主であると従ってゆきたい。御旨の成るためにへりくだり、身を献げてゆきたい。一切のニードは、イエスが解決してください。そして、今こそすべての舌が、イエスは主であると告白して、神の国の祝福に与かることを祈りましょう。



第38回 関東アシュラム 於・山崎製パン箱根山荘 2000.9.13~15

理事長 大石 嗣郎
編集人 有馬 歳弘
定価 一部60円 千80円

「祝された九州アシュラム」
九州アシュラム事務局 岡山教彦

第35回九州アシュラムが、九月22日、23日と福岡厚生年金スポーツセンターで行われました。今回の助言として古河 治牧師(日本キリスト教団 香櫛園教会 関西アシュラム委員長)をお迎え致しました。主題聖句は「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいるのである」(マタイによる福音書28章20節)でした。

今回は35回のひと区切りとなるアシュラムのため、ぜひ多くの兄弟姉妹が集われることを期待し、案内も差し上げました。ところが申込者は全部で17名と少数でした。事務局をあずかる私としては、少し不安の募るアシュラムとなりました。しかし、毎年どのようなことがあっても必ず

出席される祈りの勇士が参加してくださっているので心強く感じました。皆さん、笑顔でまた期待を持って第35回のアシュラムに参加してください。

今回の最大の恵みは、なんとと言っても助言者の古河 治牧師の三回にわたる「福音の時」でした。古河牧師の牧される香櫛園教会は六年前の阪神大震災で全壊してしまいました。教会員の死亡また離散という最大の苦難の中で、復活の主が現れてくださり、「この教会の復興は必ずこのわたしがする。」と古河牧師に語りかけてくださった。そしてその約束の通り、主はみごとに教会の復興を成し遂げてくださいました。先生は涙を拭くことなく、主の恵みと力、そして約束の確かさを語ってくださいました。先生のお話を通して、主

はいつも私たちと共にいてくださるお方であるとの確信を深めることができました。

小人数ではありましたが、恵みに満ち溢れたアシュラムとなりました。そして来年の再会とまた多くの人が参加されることを祈ってそれぞれの教会へと帰って行きました。

さらにひとつ付け加えたいことは、一昨年の九州アシュラムに海老沢宣道先生ご夫妻をお迎えしたことでした。去る六月、先生は天に凱旋されましたが、九州アシュラムで語ってくださった先生の宣教へのヴィジョンは私たちの心に深く焼き付いています。(日本同盟キリスト教団 小倉中央教会牧師)

はれるやさん

⑤ 谷牧子



いきました。先生のお話を通して、主

はいつも私たちと共にいてくださるお方であるとの確信を深めることができました。

小倉中央教会牧師

案内

第32回城北アシュラム

日時 01年2月12日(月)

会場 日本基督教団 更生教会

助言者 更生教会 原田 謙牧師

他

申込先 〒165-0033

東京都中野区若宮2-1-15

日本基督教団 更生教会

☎03-3330-2054

編集後記

ご協力感謝します。アシュラム開催報告にご協力下さい。(有馬)

